

火の用心

～ 狭山市消防団通信 ～

狭山市消防団広報誌
平成22年3月10日発行

発行：狭山市消防団
編集：狭山市消防団広報担当

ご挨拶



狭山市消防団長 伊藤 隆弘

狭山市消防団は、昭和30年に発足し、現在292名（定数333名）で構成されています。私たちの活動は、火災発生時における消火活動、災害発生時における警戒巡視、避難誘導の他平常時には各種訓練や警戒、防災指導や予防啓発など多岐に渡ります。

しかしながら近年の社会環境の変化に伴い、団員の確保・充足が難しく、地域防災力の低下が懸念されている状況です。今こそ市民の皆様にご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識を共有して頂きたく、この度消防団をより多くの市民の皆様にご理解頂く試みの一つとして、消防団の広報誌「火の用心～狭山市消防団通信～」を発行することとなりました。先輩から受け継がれてきたこの郷土を、そして市民の安全・安心のために、より一層の組織の充実・強化を図り、魅力ある消防団を目指し精進していきたいと考えておりますので、皆様のご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。



平成21年11月28日 特別点検時の一斉放水



狭山市長 仲川 幸成

ここに消防団広報誌が創刊の運びとなりましたことはご同慶に堪えません。伊藤消防団長を始め消防団員は、生業を持ちながらも「みずからの地域はみずから守る」という崇高な郷土愛

の精神に基づき、地域の安全・安心の確保に大きく貢献し、災害対応はもとより地域コミュニティの維持や振興にも大きな役割を果たしておりますが、このたびの広報誌の発行を契機として、昼夜を問わず活動している消防団員の姿を多くの市民の皆様にお知らせできるものと期待しております。地域の実情に精通した消防団の重要性をご理解いただき、今後とも、消防団へのご支援ご協力を心からお願い申し上げます。



狭山市消防長 安永 和郎

狭山市消防団広報誌の創刊おめでとうございます。狭山市消防団は、伊藤消防団長を中心に、地域の安全確保のために献身的にご尽力いただいていることに感謝申し上げます。このたび、

広報誌を発行されたことで、団員相互の連携がより一層深まるとともに、地域の皆様と消防団の協働体制が強化されるものと心より期待しております。消防本部といたしましても、消防防災体制の充実強化に向け、消防団の皆様とより密接な連携体制を確立できるよう努めてまいります。狭山市消防団の益々のご発展と団員各位のご活躍を祈念申し上げます。